鈴木ちか

45歳　参院選静岡（改選数2）

すずき・千佳＝1977年静岡県川根本町（旧中川根町）生まれ。静岡大学法経短期大学部卒業。党県副委員長

子どもたちの笑顔のために

自衛隊員の家族も戦争法廃止
平和憲法守り抜く

とその補佐勢力対野党プラス市民、国民です。改選数2の静岡選挙区で自民に議席を与えず、共産党初の議席を取らなければ、と気合も新たに眼鏡も新調、真っ赤なスーツで駆け回っています。

とりわけ戦争法反対、憲法を守ると誓った安倍政権の暴挙の原点です。長崎出身の母から原爆の怒りの話を聞いて育ち、悲劇を繰り返してはいけないと大学では憲法ゼミを選びました。その母が直前選挙に出た時に話した「共産党員だから絶対戦争にはしない」の言葉が入党のきっかけです。

静岡県は東富士演習場や空自長松基地など米軍と自衛隊の基地が多く、面積では全国3位です。

親戚、知り合いに自衛隊員がいる県民も多くいます。戦争法廃止の署名に「子育て世代や雇用する市民が声を上げ、政治を動かしています。国の姿勢が変われば現場の状況はきっと変わります。

いま、小学生の娘クラスは30人以上で、先生は大変です。児童クラブは詰め込みの入、高学年の人数入りにくくなっています。「働き方を変えないと」と言っている お母さんたちが多くいます。

子どもが小学校に入学する時、県議選に挑戦しました。

戦争法廃止や国政での選挙協力を確認した野党党首の合意を受け、集会や宣伝でも「よかった」「これからですね」とたくさんの声がかけられました。わたしの出身地・川根本町の鈴木敏末町長は保守の方ですが、自筆の応援メッセージを寄せてくれました。戦争法に反対する市民から、聖談の申し入れも増え、期待が日に日に広がっています。

参院選の構図は、自公

安倍政権の暴走止めてくれ

元自民党掛川市議　**松浦　喜芳**さん

私は青年時代から長い間、自民党政権を支え、選挙や政治活動をしてきました。しかし、今の自民党には、強いボ　ンヌを抱いています。

今の安倍政権に対して意見が合うような政治家が、自民党内に何人いるでしょうか。多くの有権者が、「違憲だ」と唱えた集団的自衛権の行使容認を、憲法解釈を勝手に変えて閣議決定をした時、私はもうついていけないと思いました。

政治の最終的な決定権は国民にあります。「ダメなものはダメ」とはっきり言える、鈴木ちか候補や、戦争法廃止を訴え、安倍政権の横暴を絶対に許さない共産党のような政党がもっと必要です。

女性の立場から子育てや教育分野での、さらなる活躍を鈴木ちか候補に期待します。

比例は日本共産党へ

選挙区メモ

改選数2の静岡選挙区。

自民と民進が議席を持ちます。自民は現職が立候補を表明。民進は、現職からフリーアナウンサーの女性に交代しました。

自民が2人目を擁立しようとしていますが、環太平洋連携協定（TPP）問題で、JAグループの政治団体「県農政対策協議会」が推薦を見合わせました。

日本共産党と後援会は戦争法廃止、安倍政権打倒へ、鈴木候補の押し上げに全力で取り組んでいます。

また、ブログにはこう書きました。

「心配な面もありますが、そういう立場だからこそ訴えたいことがいっぱいです。ウチのこどもよ、そのうち笑顔に！　そのためにはママもパパも、アブバもイジもちんなく笑顔でなければ！」

私を見て「勇気が出る」人がいるかもしれない、と今回も迷いなく立候補を決めました。

安心して暮らすために、辺野古新基地建設を許すわけにはいかない。「沖縄問題発生の再稼働さえなんとかしてほしい」と沖縄の仲間を「と多くの方が声を上げつづけています。みなさんの頑張りを受け止め頑張ります。